



ASHBiは4つの生物学分野と数学・倫理学の融合によって、新しいヒト生物学を創出することを目的としている。ASHBi Fusion Research Grant Program は、異なる分野の若手研究者が2名以上でチームを組み、自発的な活動を通じた融合研究を推進するために構築された。NIHの審査システムを参考とし、シニア研究者のコメントを軸とした複数回に及ぶ計画書の差し戻しや、チーム再編を含む厳しい審査を行い研究計画のブラッシュアップに注力している。採択後も、年度末のレポート提出と進捗報告会により、審査員以外の研究者からの意見も取り入れ、計画の途中でであっても研究の打ち切りや、支給額の減額も行なっている。厳しい審査・評価システムを設けたことで、ただのチャレンジに留まらず、論文発表や特許取得につながる研究成果が生まれている。本ポスターでは、プログラムを通じた取り組みについてご紹介したい。

ASHBi

Fusion Research Grant

とは？

若手研究者の自発的な活動を支援し、
研究室を超えた新しい融合研究の創出を目指す内部グラント

○ × ○

申請チーム

数学

倫理

生物

発生生物学/ゲノム情報学/霊長類モデル/基礎・臨床医学

2つ以上の分野の若手研究者がチームを組み、
ASHBi Pls等で構成される審査委員が審査を行う。

- 最大300万円/年

- 最長3年間

FY2020 - FY2021

15 チーム採択

FY2020: 7チーム

FY2021: 8チーム

数学 × 生物 5チーム
倫理 × 生物 1チーム
生物 × 生物 1チーム

数学 × 生物 2チーム
倫理 × 生物 1チーム
生物 × 生物 5チーム

グラント開始2年間に15チームを採択し、
各チームに年間100-200万円の支援を行った。

FY2021までの成果・結果

論文・特許取得したチーム 2 / 15

問題点

成果は出ているが…

論文のFigureの一つとなるような小さなプロジェクト
が多く、より発展性のある融合研究に繋がりたい。

新しい学術領域を作る **融合研究推進** のためには、
視野が広くリーダーシップのある **若手育成** が必要!!

Solidな研究計画書
作成の仕組み

+

伴走型の研究指導

グラントシステムに上記2点を取り入れてはどうか？

そこでFY2022より

審査からゴールまで一貫して支援するグラントをスタート!

APPLY

1

Solidな研究計画書に仕上げる

NIHグラントを参考に、『合否』を決めるだけではなく、申請書をいかに『良くするか』のための審査
学術的なゴール設定と実現可能な研究計画の策定は、若手だけでは難しいため、シニアPIが助言。

コメントによっては、
チームの再編成が行われることも

融合研究のため、複数の分野のPIが参加
他分野のPIにも計画を説明する必要がある

リバイスを通じて、
チームとして成長!

2-4ヶ月

START

申請

やりとりが、
2-3回繰り返される

Revise request

審査委員

数学、倫理、発生生物学
ゲノム科学、基礎医学

合否だけでなく、コメントでの評価を依頼

2

伴走型の研究指導

採択後も継続して審査委員から、
フィードバックを受けることが出来るシステム

1年

活動報告書
ワークショップ

中間報告

審査委員長+ASHBi 若手PIとの
クローズドな面談

2年

活動報告書
ワークショップ

新年度スタート

Drop out

評価(金額)とともに、
審査委員よりコメント

評価によっては打ち切りや
減額となる。

ワークショップ

point

プロセスを通じて、
研究計画書がブラッシュアップされていく

point

俯瞰的なコメントを複数のPIからもらう

GOAL

FY2022以降の採択状況

FY2022: 2チーム

FY2023: 3チーム

FY2024

FY2025: 3チーム

数学 × 生物 1チーム
生物 × 生物 1チーム

数学 × 生物 2チーム
生物 × 生物 1チーム

なし

数学 × 生物 1チーム
生物 × 生物 2チーム

審査委員以外の
ASHBi メンバーも
参加するオープンな会

7th workshop on
ASHBi
FUSION
RESEARCH
GRANT
FEBRUARY 22, 2022
14:00 - 19:00
@ASHBi CONFERENCE ROOM

3D chromatin structures for cell fate decision

審査委員以外の
ASHBi メンバーも
参加するオープンな会

FY2022以降採択数
は減少したが、
複合的に成果を出す
チームが増えた。

<これまでの成果>

採択数 23

発表論文数 4

出願特許数 1

FY2022以降の ACHIEVEMENT

FY2022採択
グループの例

獲得グラント

融合研究論文

現ポジション

FY2023採択
グループの例

獲得グラント

融合研究論文

生物 × 生物*

HFSP

in preparation

MITポスドク

生物 × 数学*

さがかけ

BioRxiv (submitted)

科研費

中国科学院 助教授

-

*外国籍

考察・展望

従来型のお金と機会を与えるグラントから、若手研究者の育成を考えたグラントシステムへと変更したことにより、若手研究者がより大きな視野を持って研究計画書を作成するスキルや、他の研究者と協働するために必要なマネジメント・リーダーシップ力を得ることができた。実際に、本グラントを獲得した研究者がHFSPやさがかけなどの大型外部グラントを獲得するようになった。今後は、本グラントを通じて得た知見を、研究資金獲得サポートなど他のサポートへの応用を目指したい。

Acknowledgement: 本グラントの運営にあたり、常にサポートいただいている平岡裕章教授、澤守麻由子さんに心より感謝申し上げます。また、本発表にあたりASHBi Research Acceleration Unitの皆様にも助言いただきました。